

びふか

議

会

です  
こんにちは

2003 / 7

第46号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



## 開校100周年目の運動会

(恩根内小学校)

主 な 内 容	第2回定例会 ~ 条例改正 ~ ~ 助役選任 ~	2 P
	第2回定例会 ~ 補正予算 ~	3 P
	一般質問 6氏が登壇	4 ~ 7 P
	函岳のめ、議員投稿 ~ 南議員、退職議員表彰	8 P
	委員会レポート、意見書	9 P
私からのメッセージ	北川和男さん 鈴木由美子さん	10 P

# 第2回定例会

## 収入役を廃止

## 助役が事務を兼掌

平成15年第2回定例会は、6月3日から6日の4日間を会期として開催され、町長から「平成14年度的一般会計ほか各会計の決算状況」と「町村合併問題」「上下水道料金の改定」3件について報告されたのち、「美深町収入役事務兼掌条例の制定」他8議案、同意1件、専決処分報告の承認1件、議会側から意見書案・承認各2件がそれぞれ審議され、いずれも原案どおり可決した。  
なお、一般質問は6人が登壇した。

美深町国民健康保険条例の一部改正

この条例は、総務常任委員会報告を受け、賛成多数で可決された。

美深町収入役事務兼掌条例の制定



収入役を置かず助役をしてその事務を兼掌させる。

(兼掌とは、二つ以上の事を兼ねつかさどること。)

美深町手数料徴収条例の一部改正

本年8月より2次稼動する住民基本台帳カード発行にかかる手数料及び交付手数料を、本条例に追加。

美深町税条例の一部改正

課税の適正化・簡素化のため、特別土地保有税の課税停止、固定資産評価替えに伴う税負担の調整、たばこ税の税率引上げ、などの合理化措置を講じた地方税法の一部改正を受け、町税条例(町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税・特別土地保有税)を改正した。

美深町新規就農者等に関する条例の一部改正

美深町農業協同組合の合併により「北はるか農業協同組合」が発足したのに伴い、条文中の「美深町農業協同組合」を「農業協同組合」に改正した。

美深町育英資金貸付基金条例の一部改正

名誉町民故山崎幸一氏の遺族から氏の志であった人材育成を目的に寄付があったことから、育英資金貸付の原資を一千万円増資した。

美深町特別土地保有税審議会条例の廃止

税条例改正(特別土地保有税を課さないとする規定の追加)に伴い特別土地保有税審議会条例を廃止する。

町政を知る良い機会です

あなたも  
議会を傍聴してみませんか

平成15年第3回定例会は  
9月中旬に開かれる予定です



安藤 助役

助役の  
選任を同意

美深町助役に安藤博幸氏の選任同意が求められ、満場一致で同意した。  
安藤氏は昭和19年10月15日生、今回2期目である。

# 補正予算

当初は統一選挙のため骨格予算で編成され、今回は、総体を見直し政策面を組み込む補正予算となる。地方交付税が減額する中、雇用と地域経済を考え、歳入歳出それぞれ5億4198万5000円を追加し、総額51億427万4000円となった。

質問 公住建設工事請負費1億8790万円で、東団地に5棟10戸の建設である。関係住民の意向としては車庫よりも家庭菜園の要望があるが、建設課長 現入居者で車を持たない人もいる。家庭菜園については、全戸南側に設置する計画となっている。



解体される旧天木工場

質問 スクールバスの入替について、玉川路線・恩根内路線は、住民も使用しているの、今後高齢者対応も必要ではないか。学校教育課長 通学バスとしての補助の関係もあるの、でなかなか難しいと思うが、今後十分考えていく。

質問 全日本イカダサミットin天塩川大会実行委員会の負担金の50万円ですが、実行予算はいくらで、過去にはどこで行われていたのか。町政推進室長 総額210万円、開催地は広島県の太田川、愛知県・四国・福岡・昨年は帯広の十勝川で開催された。

質問 恩根内小学校のプールのシート張替に130万円の計上であるが、6年前

にも同額での張替であり、立派な町民プールの活用を考えては。教育長 利用者減ではある。しかし地域にはまだ必要と考える。また、住民にも開放している。

質問 天木跡地解体に関する雇用対策と工事発注の経過は。助役 今回の場合は、雇用対策として工事を発注したい。

質問 チョウザメ館の現況と今後の運営方法は。商工観光対策室長 現在約300匹程度が生育し毎年ふ化に成功すれば美深温泉に安定的に出荷できる状況である。町内の料飲店に試験的に提供したこともあったが現在は美深温泉だけに出荷している。

質問 担い手確保対策宿泊施設の利用者の約束事や管理・維持についてどのようになっているのか、また、募集・PR活動はどのようなになっているのか。産業課長 他町村のこういう施設の入居心得等を参考にし農業後継者育成協議会で整理している。管理・維持については財の管理の中であり、PRについては、農業後継者育成協議会で取り組んでいる。

質問 町民が住宅として利用する公営住宅の部分と、管財で管理している部分との家賃の調整をすべきではないか。財政課長 公営住宅等については、建てる段階の補助とか諸々の制度があるから比較は難しいと思うが、今後は町内部で検討課題になってくる。

質問 備品購入におけるOA機器は具体的に何に使用できるのか。総務課長 具体的な性能、役割だがLGWANが全国ネットで稼動するため、これに接続するものである。

質問者は、山口、酒井、菅野、倉兼、諸岡、藤守、林、岩崎、南、今泉、越智議員

エルジーワン LGWANとは？ 地方公共団体を相互に接続する行政機関専用のネットワークのことです。



天塩川のイカダ下り

## 今回の補正は、サービス介護保険特別会計

事業勘定の歳入歳出予算に42万8000円を追加し、総額2億5233万5000円となった。

# 質 問



倉 兼 議 員

## 質問事項

1. 顔の見える行政姿勢について
2. 働く場所の確保対策について

### 働く場所の確保対策について

質問 農業の合理化、林産業の低迷、公共事業の減少に加えて景気の悪さで企業の合理化が進み、雇用の場が非常に少なく、若者がこの町に定住して働ける状況にない。

総合計画においても、労働市場の開拓と若年労働者の地元定着を図る施策を重視しているが町長の考えは、私は、労働対策・雇用対策を行政だけで取り組むのではなく、農協・商工会と連携しての雇用対策の機関を設置してはと思う。

農協における生産物や生産資材の輸送の大半は、町外業者で行われているがこれを町内業者に、町が民間委託しているごみ処理やバス事業を単年契約から複数年契約に、農産物加工や問伐材加工は第三セクター方式に、などの取り組みが協議検討されてもよいのではないか。

いずれにしても雇用の場を確保することが先決。

### 考え方は、同感

町長 総合計画では、社会資本の充実を中心に整備することで進めているが、ここに来て財政問題で頓挫しているが、今ある企業にいかにか定着してもらうかが大事。

特に農業問題については、新規就農対策や農業実習者の受け入れのための寄宿舎の改造を、今回予算化しているなど難しい問題にも取り組んでいる。



南 議 員

## 質問事項

1. 農業経営支援組織体制への取り組みについて
2. B S E問題について

### 雇用対策協議会（仮称）

の考え方は同感、実効の上がる組織にするには十分な検討が必要、町内に仕事があるのに町内業者が入っていないと言うのは問題、検討する必要がある。

しかし、競争の原理も大切にしなければならぬ。今年から農業振興センターについて、従来は加工研究の場としてきたが、売る製品造りの許可を取ることから、二次加工の道も開けたらと思う。その段階で企業誘致条例や町有地を活用し

### 農業サポート体制の確立を

#### 確立を

質問 美深町の基幹産業は第一次産業であり、とりわけ農業の経営環境は後継者・担い手不足、高齢化が進み、今後の農業振興を図るには各経営体の総合的支援対策が急務で個別完結型農業の限界を感じている各経営体を総合的にサポートできる全町的な支援組織が必要ではないのか。

新規就農者の受け皿、農業法人化のモデル的存在、

て生産の上がる製品を造っていくことが必要と思う。



雇用の場の確保が望まれる

### 農業者意識の

#### 確立必要

雇用の創出、異業種参入の観点からも推進すべきではないのか町長の所見を伺う。

町長 何と言っても農業者自らの意識の確立なしにはこの問題は解決しない。関係機関も地域連携型あるいは法人化、共同収穫、コントラクター化について地域農業経営改善を進展させる方法として整理し営農懇談会等を通じて指導している。

# 般



宮岡 議員

## 質問事項

1. 商店街の空地空店舗と商業活性化について
2. 東団地天木跡地の有効活用について

### 商店活性化

#### 早めの対策を

質問 本町の商店街の空き地、空き店舗は大幅に増えてきている。

空き地対策で中心市街地に高齢者にやさしい福祉住宅を建設してその一角に商店営業できる小型ショッピングセンターを建設し商店街の集約化を進めるべきである。

### 商業振興に努力

町長の所見を伺いたい。

町長 空き店舗の増加は、何とか避けなければならぬ。

現在、店舗改修に補助を出して、福祉住宅等を建設し集合店舗構想は、商工会中心に進めたが現実には至らなかった。

空き地をどの様に活用していくかはこれからの問題である。

お年寄りや障害のある方を便利な所に住まわせてあげたい。

福祉住宅の建設には十分に考慮しての考え方を持っ



低迷している牛肉価格

本年から各普及センターより2名を出して法人設立・経営等を指導するプロジェクト事業がスタートしこの動きに注目していく。

### 影響の残る

#### BSE問題

質問 一昨年9月BSE感染牛が発見され、畜産業界に限らず多岐にわたる業界に損害を与えたがその対策も14年度に打切られた。

しかし、まだその影響は残り調整保管牛肉の市中放用地内のボード工場は危険であり早急に解体すべきである。

東団地の環境対策が急務であり、天木跡地のグラウンド用地を含め宅地の分譲も出来る所もあり、町民の期待の持てる素晴らしい東団地の用地構想を示すべきと思うが。

### 建物解体は

#### 雇用対策で

町長 天木跡地は今回の補正でリサイクルセンターの改築予算を提案し、もう一

### 畜産振興に

#### 最大限の努力

町長 行政としては一定水準まで回復してきたという認識をしているが、関係機関を通じて大家畜経営改善資金への需要調査がされている。

今後も畜産振興について行政も最大限の努力をする。

つのご指摘のボード工場は、一部森林組合が利用し、もう一件は民間に貸付け、砂保管庫として活用し、それ以外は一切撤去することになる。

今回の補正予算では、雇用対策も考え直営でやる部分もあり4〜5人雇用する。工場敷地などの活用については、今回の補正予算での調査が終了次第具体的なものに着手していかなければならないと思っている。

### 早期の環境対策を

質問 天木跡地の有効活用は、リサイクルセンター整備計画、公営住宅建設が進められている現状にあるが、

早期の環境対策を

早期の環境対策を



岩崎議員

質問事項

1. 街並み復興について
2. 市町村合併について
3. 行財政改革について
4. 夢いっぱい北の大地(まち)について

### 街並みの崩壊現象に 早急な打開策を

質問 街並みの崩壊現象は、静かにじわじわとしかも残念なことに着実に深刻化し、あるときを境に雪崩現象的に始まるのかもしれない。市町村合併問題の影に隠れて『街並みの復興』とい

うことが置き去りにされているのではないかと危惧している。

平成11年の懇話会、平成12年秋から討議を繰り返し平成13年12月、町に提出された『中心市街地活性化基本計画案』その提出から現在まで1年半の時間が流れている。

TMOの受け皿として商工会が受け、その一年半の間、どのような取り組みがされてきたのか。具体的取り組みと協議内容を伺いたい。

基本的には町がイニシアチブを取り進めるべきであり、ボールの投げっぱなしでは前に進まないのではないか。

また、今年度から進める公営住宅の造成の一部を街なか居住に変えられないものか。

### 大事なことはTMOの 商工会と協議して

町長 中心市街地に空き家が増えていることを心配された発言だと思うが、町としても計画策定に向けて網羅された事業を具体化すべく、道と協議しながら進め

ている。

現下の財政状況からいろいろな面で難しい面もたくさんあり策定作業が遅れているのも事実である。

町単独で昨年から実施を始めた個店近代化事業、今回の予算に計上した天木跡地整備計画など単独でやれるものは積極的に進めている。

どこで担当するかという大事なことはTMOの商工会と検討会を進め、担当と



今泉議員

質問事項

1. 第4次総合計画について
2. 市町村合併について

### 住民との情報交換は 合併任意協議会設立後

質問 市町村合併に関しこれまで説明会、町広報による情報提供が行われているが、「一方的なお知らせ」であるとの声もある。

町民との対話による情報交換の必要性はないのか。

町長 今のところは行政の責任で住民に対し市町村合併制度の説明の段階で、これから任意の協議会を設立し住民とも十分話し合うことになる。

質問 6月に任意協議会を

商工会の理事会がこの点についてどうしていくかを話し合っている。協議が整った場合は早急にかかっているが、長い目で見て頂きたい。

街なかの団地造成については適地が確保できないことから難しく将来、高齢者福祉的なものを考えている。



心配される中心市街地

設立する意向のようだが住民との意見交換の考えは。また、6月以降はどのような組織で地域内の情報交換を持たれるのか。

町長 任意協議会設立に向けた住民対話は考えているが、任意協議会を進めるなかで住民と対話説明できるように研究体制をつくる。

質問 三町村(美深・音威子府・中川)の広域行政研究会が人口一万未満、更に既存の事務・事業に大きな成果が得られない等の理由で風連・下川を含めた五町村の広域行政研究会に移行



山口 議員

質問事項

1. 市町村合併問題について
2. 行政改革問題について

### 貯金の一部活用で 福祉予算の充実はかれ

質問 6月号町広報に、14年度中の「行革」により「補助金など3600万円余りの経費を節約できた」とあるが、その中で福祉関連事業や自治活動事業が減額されたのは重大だ。

いま町にある貯金（基金と積立金）27億円（一町民

当たり43万円）を有効活用して予算の復活と介護保険料の値上げや高齢者温泉入浴料の有料化などを回避すべきではないか。

さらに次年度に向けて管内町村中トップの特別職報酬の見直し 年間500万円を要する町長公用車運の改善見直しをする考えはないか。

### 若い者と高齢者の 均衡を考慮する

町長 決して福祉対策を軽んじているわけではない。

ただ、時代の変遷と同時に高齢者と若い者との均衡を十分に考えないと、若い者は300万円稼ぐのに年間相当の労働をしながら所得を見ている。お年寄りといっても300万円年金をもらっている人が無料で若い人が有料だが、これでもいいのかということも考え方に入っている。

町長報酬だけ月額でみると管内一番だが、ボーナスをずっと落としているので年報酬で比較すると管内7番目である。公用車については、町長がいかに機動

したが、地方制度調査会の中間報告で示された基礎的自治体の機能が可能となる



どうなる合併

的に活動して働いているかということの評価していただきたい。

### 開基二百周年めざし 自立した町づくり研究を

質問 百年という輝かしい歴史のあるこの町を「残したい、守りたい」と言う町民の気持ちをふまえ、開基二百周年を見据えた自立する町づくりビジョンを具体的に示す研究こそ進めるべきではないか。

のか。

町長 地方制度調査会の最終報告が11月に出されるが、基礎的自治体の人口規模の数字は示されないものの、人口の少ない町村は小規模自治体と認めない考え方は変わっていないようだ。それらの問題に向かっての運動はするが、将来的には相当難しい問題が出てくると想定しながら今後の地方自治を検討しなければならぬ。

質問 住民を対象とした議論がこれまで一切ないなか

### 合併か広域処理の 研究が必要

町長 人口が4000人程度になった場合、住民サービスを継続

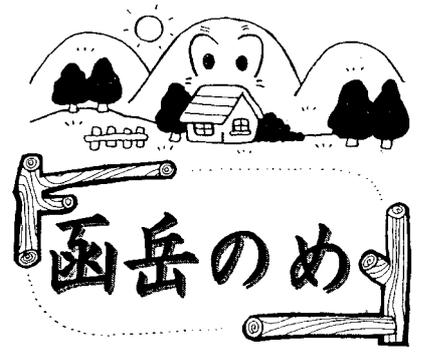
できるか、また各施設の維持費を少ない町民で負担できるのか、というところにできると私は



開基100周年塔

で任意協議会の段階で合併に関する是非が検討されると思うが、これが法廷協議会に移行了した場合、どちらかというと合併の方向を視野に入れた協議になる心配はないか。

町長 任意協議会で合併を踏まえ具体的に話が煮詰まった場合は、状況によって合併しないこととする結論もあり得るため、法廷協議会設立を判断する時期も遠くなく来るのではないかと思う。



# 市町村合併問題

## 調査特別委員会が発進

今回の第2回定例議会において、議員提案により、「市町村合併問題調査特別委員会」の設置が可決され、議会側としての合併に対する調査も本格化してきた。構成は議長を除く全議員であり、選挙により委員長

には倉兼議員、副委員長には藤守議員と決定した。

また、行政報告のなかでは、「町村合併に関しては、5町村による広域行政研究会を一步前進させ、6月末には任意合併協議会を立ち上げる」ことが報告された。任意協議会の大きな役割は、合併の是非を含めた協議、住民の判断材料となる調査及び資料づくりであり、

今後は法定協議会へ移行することも視野に入れ十分な調査研究が必要となる。任意協議会のメンバーとしては、町村長、議会議長、

合併特別委員会委員長、経済界代表、住民代表という構成である。

6月23日近隣5町村による会合を開き、任意協議会設立に関する話し合いがなされた。

合併による人口問題は重要な課題である。

名寄市抜きでの上川北部5町村の人口1万9800人、合併特例債約14.8億円、名寄市を加えると、人口4万7580人、合併特例債25.2億円との数字が見込まれるが...

わが町美深を含めた5町村は、今後さらに少子高齢化で、人口は減少するのではないかという共通の悩みをもっている。国は、人口規模だけで町村単位を決定するのではなく各自自治体の規模や特色等を十分考慮し進めなければならぬのでは？

### 議員投稿

初当選から早くも2ヶ月が過ぎこの間、臨時議会、定例会、委員会と初体験の日々を過ぎ議員の重責をあらためて感じています。



議員 南

初めて入場した時の緊張感や議場の緊張感を忘れることなく与えられた任期を一杯努める所存です。今議会は市町村合併問題が最大の懸案事項であり、町民の行く末を誤った方向に行かないよう町政を監視し提案する議会であり、

### 退職議員に表彰

竹形 貢氏（四期16年）、吉田 実氏（三期12年）、山崎晴一氏（一期4年）の三氏が、退職にあたり長年の町政発展の為に尽力されたことに対し美深町議会より表彰された。



山崎氏、竹形氏、吉田氏

その責務は大変重要なものです。

国は「小さな政府」の為に「三位一体の改革」等で地方分権を図ろうとしています。一方で市町村合併は逆に大都市集中化に拍車がかかる恐れもあります。

## 温故知新

私が生まれた昭和35年当時、美深の人口は1万5000人程だったと思います。現在6000人を割り込み人口減と共に町に元気がない状況が続いています。

合併するしないに関らず町民全体で町の自立をどうすべきか真剣に考えようではありませんか。私は美深入植4代目の農家でもあります。昔の写真を見ると入植当時美深は一面原生林で、先人がその一本一本を切り倒して造成した大地を守るのが農業者の努めだと思えます。

これから議員として町政に関するわけですが、先人の労苦を無駄にする事のない様な議論を重ね私なりの新しい視点で行政に刺激を与えて行きたいと思えます。

# こんなことを 調査しました

## 委員会レポート

### 総務常任委員会

付託案件審査

審査月日 6月4日

審査案件 美深町国民健康  
保険条例の一部改正

審査経過と結果

改正の主な要因は、給与所得と公的年金の特別控除が廃止となる地方税の一部改正（14年度第4回定例会で可決）による課税標準の減、さらに所得の減少により、3,000万円余の国民健康保険会計の税収不足が生じることとなり、また今年度は財政調整基金が底をつく状態にあり、さらに医療費の増加も見込まれることから、現行の税率では当初予算を確保できない状況である。

なお改正に当たっては一般会計より最大の組み入れ予算編成をしている。なお低所得者に対する現行の軽減は実施し、あわせて介護保険の限度額の引き上げをし、低所得者に配慮している。

国民健康保険会計の健全な運営を保つ為の改正ととらえ賛成多数で「原案可決すべき」と決定した。

### 議会運営委員会

5月28日・6月3日・8日

第2回定例会で審議する議案、追加議案、陳情等の取扱い及び一般質問の内容確認のほか、会期、議事日程などの議会の運営について協議した。

### 広報委員会

6月6日・24日・25日・26日・7月4日

第2回定例会に係る議会広報第46号の発行に向け、編集会議及び起稿・編集・校正の作業を行った。

8月に開催予定の全国及び全道町村議会議長会主催の広報研修会への参加を協議した。

## 意見書を国へ提出

「議会ですこんにちは」が  
ホームページに!!

「議会ですこんにちは」を  
ホームページに掲載していますので  
是非一度ご覧ください。

ホームページアドレス

<http://www.town.bifuka.hokkido.jp>

高速道路の整備に関する意見書

提出者 今泉 常夫  
賛成者 藤守千代子  
菅野 勝義

提出先

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 国土交通大臣 行政改革・規制改革担当大臣

「三位一体の改革」の早期実現に関する意見書

提出者 藤守千代子  
賛成者 今泉 常夫  
菅野 勝義

提出先

衆議院議長 参議院議長  
内閣総理大臣 内閣官房長官 総務大臣  
財務大臣 経済財政政策担当大臣

# 私からの Message



第3町内会  
鈴木 由美子

この春に美深町の住人となりました。  
まだ3月でしたので、かなりの雪と厳寒であろうと覚悟をして来ましたが、見事に除雪された道路は歩き易く、春の陽ざしはやわらかく、何よりも町がきれいなのに驚きました。  
大好きな温泉に一泊して目を見はりました。  
木のぬくもりがやさしい清潔な館内。廊下がピカピカで、食事もおいしく、入

## 美深町に住んで

対面の私に、身の上話までして下さったご婦人の暖かい笑顔が印象的でした。  
空気も、食べ物もおいしく、景観の美しさは、この

浴料金が安いのもありがたい！  
「こうやって月に何度か温泉に浸かるのが、何よりも楽しみなんです」と、初世の物とは思えない程です。自慢できる物が沢山ありこれらの全てを、決して背伸びをせず、等身大で支えている皆さんの、熱いパワーに敬服です。  
少し不便で、少し物足りない、これが人の生活の原点でしょう。  
都会の便利さに、どっぷりと漬かっている我が家の子供達はどう感じてくれるでしょうか。  
これからが楽しみです。



新生町内会  
北川 和男

雪深い北の大地美深にも初夏の香りと新緑の美しい季節となりました。  
50歳からの再就職で、慣れない山の作業と厳しい自然に悪戦苦闘しているところですが。  
しかし、改めて山を眺めてみると、色々と考えさせられる事も多いものです。  
今、山はどの木々達も枝いっぱい葉を広げ、大地の空気を吸い緑に輝いています。

## 新緑

この緑の森が夏から秋へとやがて実を付け、葉の色を染めてゆき、初冬には葉を落とし厳しい冬に向かい、厳寒の中でもじっと耐えて蓄を守っています。  
なにか人の一生を見ている思いがいたします。  
冬芽から蕾が開く幼少期、今は緑いっぱい誰にも夢

と希望の膨らむ青年時代、夏から秋にはそれぞれの花実を付け個々の色に染まる熟年期、その後は静かに散ってゆく老年期...  
その繰り返しが永遠に続く森の営み。  
私は色彩豊かな秋の山も好きですが、何か希望に満ちている様な新緑のこの季節が一番好きです。  
この森を守り育てる仕事に誇りを持って頑張っている人たちと思っています。

## 編集後記

改選後、初の定例会が開催され一般質問には、新人議員を含む6氏が登壇した。  
また、町村合併問題を議論すべく特別委員会が発足し、いち早くその内容を広報でお知らせしようとして編集を進めていたところ、事務局職員の人事異動もあり、広報委員も戸惑い悪戦苦闘しながら広報第46号の編集に全力投球したところです。  
町民のみなさまのご意見をお聞かせ下さい。

